

## TruPhase の導入(7) —デジタル再生における動作確認(5)—

### 1. はじめに

前報(6)に引き続き、TruPhase のデジタル再生における動作確認を実施しました。

### 2. TruPhase のデジタル再生における動作確認方法

前報(6)に引き続き、TruPhase の XLR 入力→XLR 出力を検討していきます。

今回は Brooklyn DAC+の XLR 出力とし、バランスケーブルで TruPhase の XLR 端子に入力し、TruPhase の XLR 出力は、特注のバランスケーブルで P&G のフェーダーに入力し、P&G のフェーダーからバランス→アンバランス変換コネクタを経由で RCA ケーブルにより Langevin 6V6pp に接続しました。

### 3. TruPhase のデジタル再生における動作確認の結果

以上の経路で、fidata HFAS1-S10 収納の DSD 音源や PCM 音源を再生し、USB ケーブルで Brooklyn DAC+の USB 端子に入力します。

以上の経路と音源再生で音出しはでき、音質的にもまずまずのレベルですが、P&G のフェーダーから、バランス→アンバランス変換コネクタを経由でアンバランスに変換しますので、TruPhase の位相反転切り替えを行いますと音がでませんでした。これまでの経過をまとめますと次の通りとなります。

#### TruPhase の導入(2) および TruPhase の導入(3)

TruPhase を ZANDEN Model 120 あるいは Brooklyn DAC+とアンプの間に挿入し、RCA 入力、RCA 出力で再生する場合、位相反転切り替えを REVERCE 側にすると問題なく動作し、音質も上々でした。

#### TruPhase の導入(3)

TruPhase を SA12-S2 と DA-3000 の間に挿入し、XRL 入力、XLR 出力で再生する場合、過大入力のためと思われるが、音が歪みました。

#### TruPhase の導入(4)

TruPhase を Brooklyn DAC+と Langevin 6V6 アンプの間に挿入し、XRL 入力、XLR 出力で再生し、XLR 出力を RCA に変換する場合、TruPhase の位相反転切り替えを NORAML 側と REVERCE 側で音量が大きく違いました。

今回の経過は以下の通りです。

#### TruPhase の導入(5)

TruPhase を Brooklyn DAC+と P&G フェーダーの間に挿入し、XRL 入力、XLR 出

力で再生し、P&G フェーダーの XLR 出力を RCA に変換する場合、TruPhase の位相反転切り替えは NORAML 側では再生でき、REVERCE 側では音が出ませんでした。

以上から、TruPhase の XLR 入力の常用については、いずれも問題があり、TruPhase の XLR 出力を受けて XLR 入力のある 300B アンプの修理まで見送りとします。

#### 4. まとめ

音出しはでき、音質的にもまずまずのレベルですが、TruPhase の位相反転切り替えを行いますと音がでませんでした。以上、これまでの経過から、バランス接続の可能な 300B アンプの修理まで、TruPhase の RCA 入力、RCA 出力で聴いていきます。

以上